

デザイン総合実習I(製品デザインコース)

必修 開講年次：2 年次後期 科目区分：実習 単 位：2 単位 講義時間：60 時間

■**科目のねらい**：デザイン総合実習Iでは、デザイン基本科目等の基礎的な知識・技術を踏まえた上で、簡単な製作課題を与え、その製作を通して製品をデザインする上で不可欠なプロセスを体得する。同時に、問題発見からアイデア発想、モデル製作までのスキルを習得し、プレゼンテーションの基礎的能力を総合的に身に付ける。
課題を2つに分け、第1課題でアイデア発想から表現・伝達の基礎を学び、第2課題では、問題発見から提案のプレゼンテーションまでのプロセスを学ぶ。

■**到達目標**：①【デザインプロセスの理解】問題発見から解決策までのデザインプロセスを理解する。
②【基礎造形力の習得】身近な素材による造形表現に関する基本的な知識や技能を身につける。
③【基礎表現力の習得】調査・分析結果、アイデアをプレゼンするための基礎的な表現力を養う。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎安齋 利典・張 浦華・柿山 浩一郎・金 秀敬・小宮 加容子・三谷 篤史・矢久保 空遥

■**授業計画・内容**：

- 第1回 オリエンテーション/スケッチの基本
- 第2回 考えるスケッチ
- 第3回 見せるスケッチ
- 第4回 図面の書き方
- 第5回 図面とレンダリング
- 第6回 課題2の説明と調査
- 第7回 問題の明確化と課題/テーマ設定
- 第8回 アイデア展開1
- 第9回 アイデア展開2
- 第10回 アイデア展開と収斂・コンセプト化
- 第11回 中間報告とモデルの準備
- 第12回 モデル化1
- 第13回 モデル化2
- 第14回 モデルの完成とプレゼンテーションの準備
- 第15回 プレゼンテーションと評価

■**教科書**：なし

■**参考文献**：「プロダクトデザイン—商品開発に関わる全ての人へ—」/日本インダストリアルデザイナー協会編（株式会社ワークスコーポレーション）

■**成績評価基準と方法**：各プロセスへの参加姿勢30%、提出作品の評価50%、および発表を20%として評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート					
授業態度	◎	○	○	積極的な姿勢	30%
発表	○	○	◎	プレゼンテーション力	20%
作品	○	○	◎	造形力、独創力、完成度	50%
出席	○	◎	○	2/3以上の出席	欠格条件
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：製品デザイン論、造形基礎実習I、造形基礎実習II、デザイン方法論など

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：専門コース分け後初めての作品作りのため、各プロセスを着実に身につけること。